

サーバ接続の管理

この章の内容は、次のとおりです。

- ・ サーバ接続について、1 ページ
- ・ 注意事項と制約事項, 2 ページ
- vCenter Server への接続, 2 ページ
- ホストマッピングの設定, 4 ページ
- ・ ドメインの確認, 6 ページ
- 設定の確認, 7 ページ
- モジュール情報の確認, 7 ページ
- ・ サーバ接続機能の履歴,8ページ

サーバ接続について

vCenter Server または ESX サーバに接続するには、初めに Cisco Nexus 1000V で接続を定義する必要があります。この定義には、次の項目が含まれます。

- 接続名
- 使用するプロトコル
- ・サーバの IP アドレス
- ・サーバの DNS 名
- vCenter Server との通信はすべて、トランスポート層セキュリティ(TLS)プロトコルでセキュリティが維持されます。

注意事項と制約事項

インタークラウドエクステンダは、トンネルインターフェイスと VSM 管理が同じサブネット内 にある場合、VSM モジュールとしての接続に失敗します。

vCenter Server への接続

はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

次の情報を知っている必要があります。

- データセンター名
- vCenter サーバ IP アドレスまたはホスト名

次がセットアップされていることを確認する必要があります。

- •vCenter Server 管理ステーションをインストールして実行します。
- ・ESX サーバをインストールして実行します。
- Cisco Nexus 1000V アプライアンスがインストールされている。
- ・管理ポートを設定します。
- ・ホスト名を使用して接続を設定する場合、DNS がすでに設定されている。
- vCenter サーバとの拡張ファイルが登録されている。この拡張ファイルには、VSM 用の拡張 キーとパブリック証明書が格納されています。vCenter Server は、拡張ファイルを使用して VSM から受信される要求の信憑性を確認します。拡張ファイルの追加および登録の手順に ついては、『Cisco Nexus 1000V Installation and Upgrade Guide』を参照してください。

手順

	コマンドまたはアクショ ン	目的
ステップ1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードに切り替えま す。
ステップ 2	switch(config)# svs connection name	Cisco Nexus 1000V と特定の ESX サーバまたは vCenter Server との間にこの接続を追加するため、接続コンフィ ギュレーション モードに切り替えます。 名前を使用し て、複数接続情報をコンフィギュレーションに格納でき ます。

	コマンドまたはアクショ ン	目的
ステップ3	switch(config-svs-conn)# protocol vmware-vim [http]	この接続がVIMプロトコルを使用するように指定するに は、http キーワードを使用します。 このコマンドはロー カルに格納されます。
		http:VIM プロトコルが HTTP で実行されるように指定 します。 デフォルトでは HTTP over SSL(HTTPS)を使 用します。
ステップ4	次のどちらかを実行しま す。	 IPアドレスを設定している場合は、ステップ5に進みます。
		 ホスト名を設定している場合は、ステップ6に進みます。
ステップ5	switch(config-svs-conn)# remote ip address ipaddress	この接続で使用する ESX サーバまたは vCenter Server の IP アドレスを指定します。このコマンドはローカルに格 納されます。
		データセンター名を設定するには、ステップ7に進みま す。
ステップ6	switch(config-svs-conn)# remote hostname hostname	この接続で使用する ESX サーバまたは vCenter Server の DNS 名を指定します。このコマンドはローカルに格納さ れます。
		(注) DNS はすでに設定されていま す。
ステップ 1	switch(config-svs-conn)# vmware dvs datacenter-name name	Cisco Nexus 1000V が分散仮想スイッチ(DVS) として作 成される vCenter Server のデータセンター名を指定しま す。接続前または接続後に、このコマンドを使用できま す。データセンター名はローカルに格納されます。
ステップ8	switch(config-svs-conn)# connect	接続を開始します。この接続のユーザ名とパスワードが 設定されていない場合は、ユーザ名とパスワード入力プ ロンプトが表示されます。
		デフォルトは no connect です。一度にアクティブにでき る接続は1つだけです。定義済みの接続が有効な場合 は、no connect コマンドを使用して定義済みの接続を閉じ るまでエラーメッセージが表示され、コマンドが拒否さ れます。

switch# config t
switch(config)# svs connection VC
switch(config-svs-conn)# protocol vmware-vim

Cisco Nexus 1000V インタークラウド システム管理コンフィギュレーション ガイド リリース 5.2(1)IC1(1.1)

```
switch(config-svs-conn)# remote ip address 192.168.0.1
switch(config-svs-conn)# vmware dvs datacenter-name Hamilton-DC
switch(config-svs-conn)# connect
switch# show svs connections
connection VC:
    ip address: 192.168.0.1
    protocol: vmware-vim https
    certificate: default
    datacenter name: Hamilton-DC
    DVS uuid: ac 36 07 50 42 88 e9 ab-03 fe 4f dd d1 30 cc 5c
    config status: Enabled
    operational status: Connected
switch#
```

ホストマッピングの設定

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- •ホストマッピングについて
- •モジュールからのホストマッピングの削除
- 新しいホストへのマッピング
- •ホストマッピングの表示

ホストマッピングについて

VSM によって新しい VEM が検出されると、空きモジュール番号が自動的にその VEM に割り当 てられ、このモジュール番号がホストサーバの汎用固有識別子(UUID)にマッピングされます。 このマッピングによって、同じホストサーバには同じモジュール番号が割り当てられるようにな ります。

モジュールからのホスト マッピングの削除

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- EXEC モードで Cisco Nexus 1000V にログインしていること。
- •ホストを vCenter の Cisco Nexus 1000V DVS から削除してあること。

-	III III III III III III III III III II
+	шн
_	
_	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードに切 り替えます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	switch(config)# no vem module-number	指定されたモジュールをソフトウェアから削除 します。
		(注) モジュールがまだスロット内に存在し ている場合は、この例で示すように、 コマンドは拒否されます。
ステップ3	switch(config)# show module vem mapping	(任意) モジュールからホスト サーバへのマッピングを 表示します。
ステップ4	switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアッ プ コンフィギュレーションにコピーします。

switch	u# configure termi	inal	
switch	(config)# no vem	4	
switch	(config)# no vem	3	
cannot	modify slot 3: h	nost module is inserted	
switch	(config)# show m	odule vem mapping	
Mod	Status	UUID	License Status
3	powered-up	93312881-309e-11db-afa1-0015170f51a8	licensed
<pre>switch(config-vem-slot)# copy running-config startup-config</pre>			

新しいホストへのマッピング

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- •ホストを vCenter の Cisco Nexus 1000V DVS から削除してあること。

(注)

最初に既存のホストサーバマッピングを削除しなかった場合は、新しいホストサーバに別の モジュール番号が割り当てられます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモード
		に切り替えます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ2	<pre>switch(config)# vem module number</pre>	VEMスロットコンフィギュレーションモー ドを開始します。
ステップ3	switch(config-vem-slot)# host vmware id server-bios-uuid	指定したモジュールに別のホスト サーバ UUID を割り当てます。
ステップ4	switch(config-vem-slot)# show module vem mapping	(任意) モジュールからホスト サーバへのマッピン グを表示します。
ステップ5	switch(config-vem-slot)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタート アップ コンフィギュレーションにコピーし ます。

switch# config t switch(config) # vem 3 switch(config-vem-slot)# host vmware id 6dd6c3e3-7379-11db-abcd-000bab086eb6 switch(config-vem-slot) # show module vem mapping Mod Status UUID License Status _____ ___ -----3 93312881-309e-11db-afa1-0015170f51a8 powered-up licensed 4 absent 6dd6c3e3-7379-11db-abcd-000bab086eb6 licensed

switch(config-vem-slot) # copy running-config startup-config

ホストマッピングの表示

 ここでは、モジュールからホストサーバへのマッピングを表示する手順を説明します。この 手順は、EXECモードで実行します。

手順

次のコマンドを入力して、モジュールからホスト サーバへのマッピングを表示します。show module vem mapping

Mod StatusUUIDLicense Status3powered-up93312881-309e-11db-afa1-0015170f51a8licensedn1000v(config)##

ドメインの確認

設定されたドメインを確認するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	説明
show svs domain	Cisco Nexus 1000V で設定されたドメインを表示 します。

n1000v# show svs domain SVS domain config: Domain id: 98 Control vlan: 70 Packet vlan: 71 Sync state: n1000v#

設定の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

コマンド	説明
show running-config	現在の設定を表示します。
	Cisco Nexus 1000V が vCenter Server または ESX サーバに接続していない場合は、接続関連情報 だけが出力されます。
show svs domain	Cisco Nexus 1000V で設定されたドメインを表示 します。
show module	モジュール情報を表示します。
show server_info	サーバ情報を表示します。
show interface brief	vCenter Server へのアップリンクを含むインター フェイス情報を表示します。
show interface virtual	仮想インターフェイス情報を表示します。
show module vem mapping	モジュールからホストサーバへのマッピングを 表示します。

モジュール情報の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

Cisco Nexus 1000V インタークラウド システム管理コンフィギュレーション ガイド リリース 5.2(1)IC1(1.1)

コマンド	説明
show module	モジュール情報を表示します。
<pre>show server_info [name]</pre>	サーバ情報を表示します。
show interface brief	vCenter Server へのアップリンクを含むインター フェイス情報を表示します。
show interface virtual	仮想インターフェイス情報を表示します。

サーバ接続機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
サーバ接続	Release 5.2(1)IC1(1.1)	この機能が導入されました。